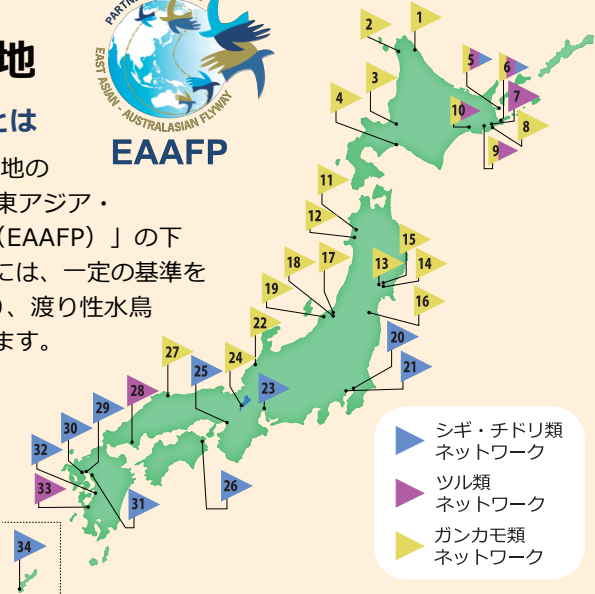




東アジア・オーストラリア地域 渡り性水鳥重要生息地ネットワーク国内参加地

「東アジア・オーストラリア地域 渡り性水鳥重要生息地ネットワーク」とは

東アジア・オーストラリア地域の渡り性水鳥とその生息地の保全を目的として2006年に発足した国際的な枠組み「東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ (EAAFP)」の下に設置されているネットワークです。このネットワークには、一定の基準を満たす渡り性水鳥の保全上重要な生息地が参加しており、渡り性水鳥に関する普及啓発や保全活動、調査研究が進められています。



16 白石川



17 福島潟



18 瓢湖水きん公園



19 佐潟



20 谷津干潟



21 東京港野鳥公園



22 片野鴨池



23 藤前干潟



24 琵琶湖



25 大阪南港野鳥園



26 吉野川河口



27 米子水鳥公園



28 八代



29 東よか干潟



30 鹿島新籠



31 荒尾干潟



32 球磨川河口



33 出水



34 漫湖



写真提供: クッチャロ湖水鳥観察館; NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク; 宮島沼水鳥・湿地センター; (公財)日本野鳥の会 ウトナイ湖シンクチュアリ; 別海町; 根室市青国伝生野鳥公園ネイチャーセンター; 霧多布湿原センター; 道谷原生; 釧路市; 能代市; 大潟村干拓博物館; 大潟市; (公財)伊豆沼・内沼環境保全財団; 大河原町; 新潟市; 阿賀野市; 佐潟水鳥・湿地センター; 富志野市; 東京都; 加賀市; 名古屋市; 清水幸男氏; 大阪南港野鳥園; 三宅武氏; 米子水鳥公園; 鶴いこいの里交流センター; 栗山千達氏; 鹿島市; 西村誠氏; 八代市; クレインパークいずみ; 那覇市

東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワーク国内参加地

No. / 名称 / 登録自治体 / 面積 / ネットワーク種別 / 特徴的な渡り性水鳥の順に記載

1. **クッチャロ湖** 北海道浜頓別町 / 1,607ha / ガンカモ類 / 東アジア個体群の1%を超える個体数のコハクチョウが中継地として利用。ヒドリガモやオナガガモ等のカモ類が3~4万羽飛来。

2. **サロベツ湿原** 北海道豊富町 / 2,253ha / ガンカモ類 / マガン及び亜種オオヒシクイの東アジア個体群の1%を超える個体数、それらを含む2万羽以上の渡り性水鳥が定期的に飛来。

3. **宮島沼** 北海道美唄市 / 30ha / ガンカモ類 / 日本最大のマガンの中継地。最大7万5千羽近くのマガンが飛来。オオハクチョウ、コハクチョウ、オナガガモ等も東アジア個体群の1%を超える個体数が飛来。

4. **ウトナイ湖** 北海道苫小牧市 / 510ha / ガンカモ類 / 2万羽を超えるマガンの中継地。また、亜種オオヒシクイのほか多数のガンカモ類において東アジア個体群の1%を超える個体数が飛来。

5. **野付半島・野付湾** 北海道野付郡別海町 / 6,053ha / シギ・チドリ類、ツル類、ガンカモ類 / ガンカモ類及びシギ・チドリ類が合計2万羽以上飛来。コクガンの日本最大のの中継地であり、東アジア個体群の1%を超える約4千羽が飛来。タンチョウの繁殖地。

6. **風連湖・春国岱** 北海道根室市 / 6,139ha / シギ・チドリ類、ツル類、ガンカモ類 / 5万羽前後のガンカモ類が飛来する他、ハジロカイツブリ、キアシシギ、キョウジョシギなど12種・亜種について、東アジアの個体群の1%を超える個体数が飛来。タンチョウの繁殖地。

7. **霧多布湿原** 北海道厚岸郡浜中町 / 2,504ha / ツル類 / タンチョウの重要な繁殖地となっているほか、オオハクチョウ、ヒシクイ等のガンカモ類が中継地として利用。

8. **琵琶瀬湾** 北海道厚岸郡浜中町 / - / ガンカモ類 / 東アジア個体群の1%を超える300-400羽のコクガンが飛来。絶滅のおそれのあるエトピリカやウミウ、カモメ類が多数繁殖。

9. **厚岸湖・別寒辺牛湿原** 北海道厚岸郡厚岸町 / 4,896ha / ツル類、ガンカモ類 / 約2万羽のガンカモ類が飛来。東アジア個体群の1%を超える約3千羽のオオハクチョウが中継地として利用し、1千-3千羽が越冬。約40つがいのタンチョウが繁殖。

10. **釧路湿原** 北海道釧路市 / 7,726ha / ツル類、ガンカモ類 / タンチョウの主な繁殖地であり、亜種オオヒシクイ、亜種ヒシクイ等のガンカモ類の中継地となっている。シマフクロウ、オジロワシ、オオワシ等の大型鳥類も見られる。

11. **小友沼** 秋田県能代市 / 60ha / ガンカモ類 / 3-4万羽のマガンがねぐらとして利用する中継地。東アジア個体群の1%を超えるコハクチョウが中継地として利用。

12. **八郎潟干拓地** 秋田県大潟村 / 17,005ha / ガンカモ類 / マガン、亜種オオヒシクイ、亜種ヒシクイを中心に2万羽以上のガンカモ類が飛来する中継地及び越冬地。絶滅の恐れのあるハクガンも定期的に飛来。

13. **化女沼** 宮城県大崎市 / 34ha / ガンカモ類 / 東アジア個体群の1%を超える、約2万羽のマガン、約2千羽の亜種ヒシクイが飛来。また、絶滅危惧種であるシジュウカラガン、コクガン、トモエガモが飛来。

14. **蕪栗沼** 宮城県大崎市 / 150ha / ガンカモ類 / 10万羽を超すマガンが越冬し、ねぐらとして利用。東アジア個体群の1%を超える1千羽を超す亜種オオヒシクイが越冬。

15. **伊豆沼・内沼** 宮城県栗原市、登米市 / 559ha / ガンカモ類 / 6-7万羽のマガンが越冬する他、亜種ヒシクイ、オオハクチョウ、オナガガモなどの飛来数がそれぞれ東アジア個体群の1%を超える。

16. **白石川** 宮城県柴田郡大河原町 / - / ガンカモ類 / 多数のコハクチョウ、オオハクチョウが越冬。

17. **福島潟** 新潟県新潟市 / 163ha / ガンカモ類 / 亜種オオヒシクイの日本最大の越冬地で、東アジア個体群の1%を超える約3千羽が飛来。マガンやハクガン、トモエガモなどのガンカモ類も越冬。

18. **瓢湖水きん公園** 新潟県阿賀野市 / 390ha / ガンカモ類 / オナガガモ・マガモを中心に、2万羽以上のガンカモ類が飛来。東アジア個体群の約1%を超える約3千羽のコハクチョウが越冬。ヨシゴイの繁殖地。

19. **佐潟** 新潟県新潟市 / 76ha / ガンカモ類 / 2万羽以上のガンカモ類が飛来。東アジア個体群の約1%を超える約8千羽のコハクチョウが越冬するほか、マガン、亜種オオヒシクイ、コガモなどが多数飛来。

20. **谷津干潟** 千葉県習志野市 / 41ha / シギ・チドリ類 / 5千羽を超える渡り性シギ・チドリ類が中継地として利用。東アジア個体群の1%を超えるメダイチドリが飛来。ハマシギ、チュウシャクシギについて重要な中継地としての基準（東アジア個体群の0.25%）を満たす。

21. **東京港野鳥公園** 東京都 / 24.9ha / シギ・チドリ類 / メダイチドリ、キアシシギ、キョウジョシギ等の渡り性シギ・チドリ類の中継地。

22. **片野鴨池** 石川県加賀市 / 10ha / ガンカモ類 / 東アジア個体群の1%を超える個体数の亜種オオヒシクイが越冬。また、日本に飛来するトモエガモの国内最大のの中継地・越冬地。

23. **藤前干潟** 愛知県名古屋市中区 / 323ha / シギ・チドリ類 / ハマシギ、キアシシギ、ソリハシギ等について、重要な中継地としての基準（東アジア個体群の0.25%）を満たす。

24. **琵琶湖** 滋賀県、滋賀県長浜市、高島市 / 65,602ha / ガンカモ類 / 7万羽を超えるカモ類の越冬地であり、ヨシガモ、ヒドリガモ等5種が東アジア個体群の1%を超える。亜種オオヒシクイの飛来地の南限。

25. **大阪南港野鳥園** 大阪府大阪市 / 19ha / シギ・チドリ類 / ハマシギが重要な中継地としての基準（東アジア個体群の0.25%）を満たす。シロチドリ、コチドリ、トウネン、キアシシギ等も多数飛来。

26. **吉野川河口** 徳島県 / 500ha / シギ・チドリ類 / ハマシギの個体数が重要な中継地としての基準（東アジア個体群の0.25%）を満たす。シロチドリ、ダイゼン、メダイチドリなども多数飛来。

27. **米子水鳥公園** 鳥取県米子市 / 30ha / ガンカモ類 / 東アジア個体群の1%を超えるキンクロハジロやスズガモが越冬。コハクチョウ、マガン、オジロワシ等も飛来。

28. **八代** 山口県周南市 / 1,904ha / ツル類 / ナベヅルの重要な越冬地のうちの一つ。

29. **東よか干潟** 佐賀県佐賀市 / 218ha / シギ・チドリ類 / 1万羽を超える渡り性シギ・チドリ類が中継地として利用。東アジア個体群の1%を超えるメダイチドリ、ダイゼン、ズグロカモメ、クロツラヘラサギが飛来。

30. **鹿島新龍** 佐賀県鹿島市 / 67ha / シギ・チドリ類 / 東アジア個体群の1%を超えるチュウシャクシギ、ズグロカモメが飛来。ソリハシギ、ホウロクシギ等の個体数が重要な中継地としての基準（東アジア個体群の0.25%）を満たす。

31. **荒尾干潟** 熊本県荒尾市 / 754ha / シギ・チドリ類 / 東アジア個体群の1%を超えるキアシシギ、ズグロカモメが飛来。チュウシャクシギ、オオソリハシギ等9種において、重要な中継地としての基準（東アジア個体群の0.25%）を満たす。クロツラヘラサギが越冬。

32. **球磨川河口** 熊本県八代市 / 180ha / シギ・チドリ類 / キアシシギ、ソリハシギ、チュウシャクシギ等について、重要な中継地としての基準（東アジア個体群の0.25%）を満たす。クロツラヘラサギ、ズグロカモメなどが越冬。

33. **出水** 鹿児島県出水市 / 842ha / ツル類 / ナベヅル、マナヅルの世界最大の越冬地であり、約1万羽のナベヅル、2,500羽のマナヅルが越冬。

34. **漫湖** 沖縄県那覇市、豊見城市 / 58ha / シギ・チドリ類 / アカアシシギにおいて、重要な中継地としての基準（東アジア個体群の0.25%）を満たす。クロツラヘラサギ、ズグロカモメ等の重要な越冬地。